

平成 29 年 6 月 2 日
国土交通省中部地方整備局
海洋環境・技術課

「みなとオアシス志摩」が新たに登録されます

～ 三重県英虞湾^{あごわん}に位置する浜島港、賢島港における一体的な地域振興に向けて ～

平成 29 年 6 月 2 日に「みなとオアシス志摩」（三重県志摩市）が 96 箇所目のみなとオアシスに登録されます。同じ英虞湾内にあり、奥志摩観光の玄関口である「賢島港」と定期船で結ばれている「浜島港」の 2 つの港を、ひとつのみなとオアシスとして登録し、一体的に地域住民の交流促進や地域の魅力の向上につながる取り組みを行います。

※ みなとオアシス：旅客船ターミナル、文化交流施設、みなとの資料館、情報提供施設、地元産品の物販施設や飲食施設などで構成されています。
詳細は、別紙-1、別紙-2 をご参照願います。



みなとオアシス標章
(シンボルマーク)

【概要】

国土交通省港湾局では、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組みが継続的に行われる施設を「みなとオアシス」として登録してきており、平成 15 年からこれまでに全国で 95 の施設が登録され、地域の活性化に寄与しています。

この度「みなとオアシス志摩」（三重県志摩市）を国土交通省港湾局長が登録し、96 箇所目となるみなとオアシスとして活動を開始することとなりました。

「みなとオアシス志摩」の代表施設である「海ほおずき」は、志摩地方の漁村の暮らしや文化、漁業を学び・体験できる施設であり、楽しいレクリエーションの場として賑わっています。

また、同じ英虞湾内にあり、奥志摩観光の玄関口である「賢島港」と定期船で結ばれている「浜島港」を一つのみなとオアシスとして登録することで、両地区のみなとまちづくりの連携強化や、オアシスの構成施設である浜島海浜公園、浜島港と賢島港を結ぶ定期船乗り場、円山公園などと一体的な活動を行うことにより、効果的に地域の活性化を図ることが期待されます。

【配布先】

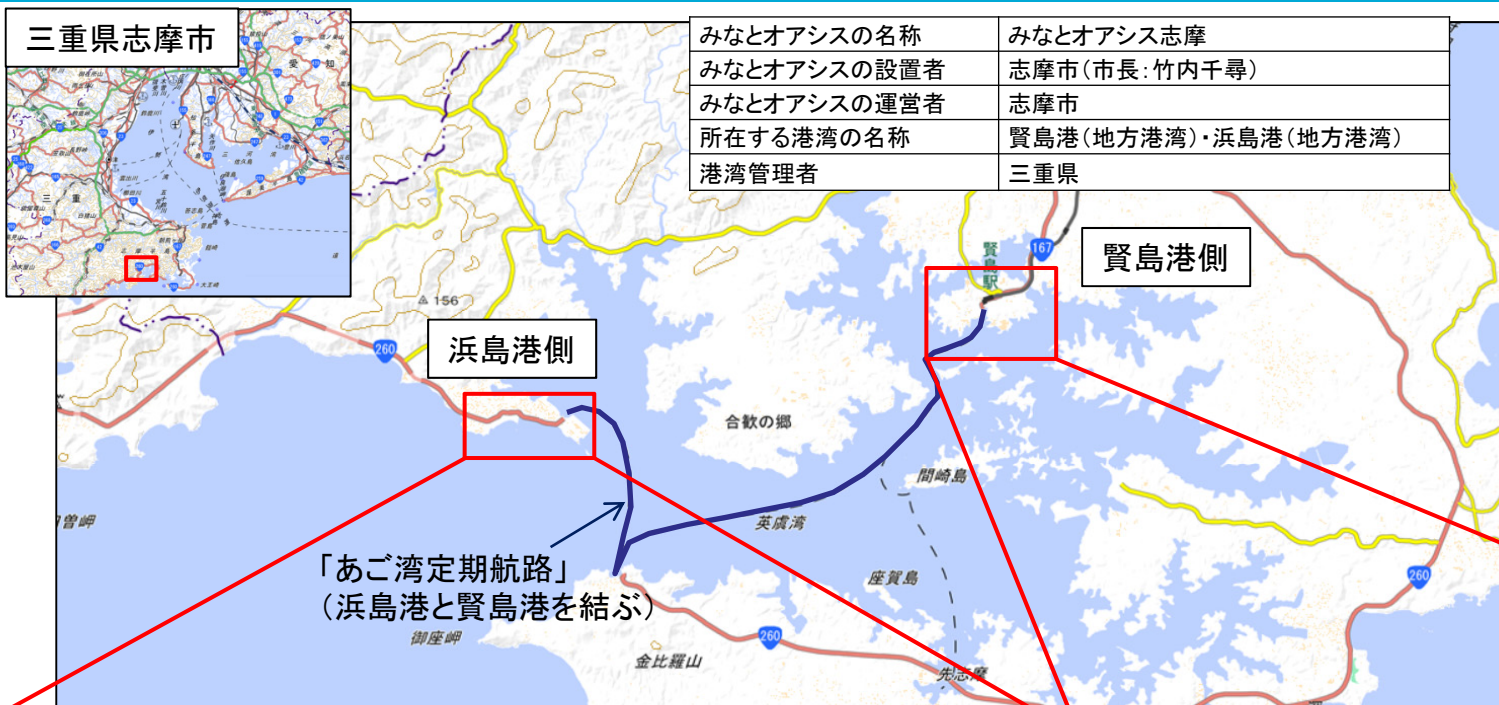
中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、三重県政記者クラブ、伊勢記者クラブ、鳥羽志摩記者クラブ、津市政記者クラブ、港湾新聞社、港湾空港タイムス、日本海事新聞社、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

【問い合わせ窓口】

国土交通省 中部地方整備局 海洋環境・技術課

課長補佐 武田（たけだ）、船舶・施設係長 草野（くさの） TEL 052-209-6329

【施設概要図】みなとオアシス志摩



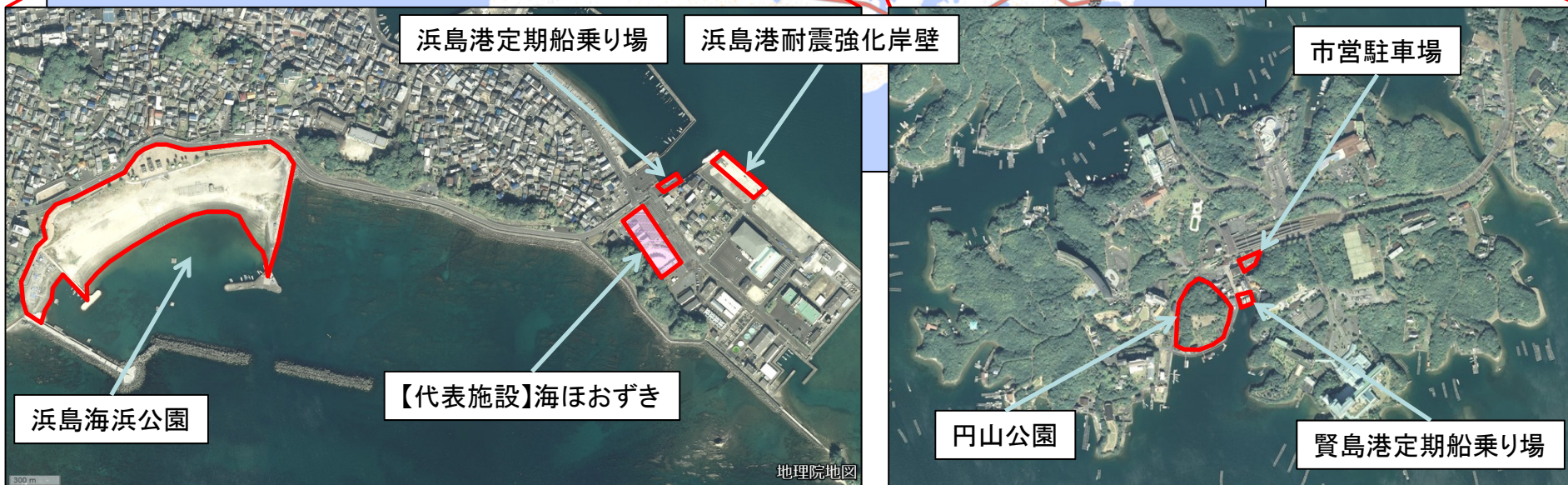
【主なイベント】



伊勢えび祭り(6月)



里海トライアスロン(7月)



○「みなとオアシス」とは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設として、国土交通省港湾局長が登録したものをいう。

○ 全国96箇所の「みなとオアシス」を登録。

機能

- 地域住民、観光客、クルーズ旅客等が交流及び休憩できる機能
- 地域の観光及び交通に関する情報の提供機能
- その他(災害支援機能、商業機能等)

設置者

- 市町村
 - 港湾管理者
 - NPO団体
- ほか



支援内容

- みなとオアシス標章(シンボルマーク)の使用
- 国土交通省・地方整備局等のホームページ等による広報
- 道路地図への掲載や道路標識の設置の支援
- その他みなとの振興に関する各種支援



「みなとオアシス」における地域振興イベント

全国のみなとオアシス

